

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

巻頭

Photo

高尾山のいきものたち

## サワガニ (サワガニ科)



溪流に棲む小さなカニ。日本にしか棲まない固有種で、山地の沢沿いなどに生息し、一生を淡水域で過ごしている。甲羅の幅は2~3cmで、体色は地域によって違いがあるが、高尾山では甲羅が褐色で脚が橙黄色のものが多い。

日中は石の下や隙間に潜んで身を隠し、夜や雨の日などに活動する。雑食性で、昆虫やミミズ、藻類、植物など様々なものを食べる。雌は夏に数十の卵を産み、稚ガニになるまで腹部にかかえて保護する。冬が近くなると、石の下などに潜り越冬する。天敵はカエルや野鳥、イタチなど様々で、人間も食用とすることもある。サワガニはきれいな水質の指標生物となっている。高尾山の沢にもサワガニが棲む清らかな水が流れている。

(写真・文 森林インストラクター 藤原 裕二)

### フォレストサポート高尾 (FS高尾) の活動

フォレストサポート高尾「多様な活動の森における森林保全活動」において、いろはの森コースにある木製歩道の防腐剤塗布を実施いただきました。



活動状況



参加いただいた皆様

### 高尾陣馬特別警戒

大晦日から元旦の朝にかけて、「高尾陣馬特別警戒連絡協議会」による夜間パトロールに職員が参加。火災や事故等なく無事終了しました。



準備を整え巡回に出発



無事パトロールを終え下山

多摩市立 連光寺小学校 (1月20日、21日に実施【出前】) 66名参加



森林の働きや炭の仕組みを学習



団扇を扇いで窯内に熱を送り込み



作った窯に竹を並べます



窯出し (たくさんの竹炭できました)

八王子市立 上川口小学校 (1月27日、28日に実施【出前】) 5名参加



森林の働きや炭の仕組みを学習



炭になっていく過程を説明



窯に竹を並べます



たくさんの竹炭ができました

編集後記

秋に茶色に色づいた葉は、翌年春まで落ちずに残るヤマコウバシ。高尾山でも見ることができます。ほとんどの落葉樹が葉を落としている季節、山に彩りを添えています。



ヤマコウバシの葉

Forest通信 No.444

発行：林野庁関東森林管理局

高尾森林ふれあい推進センター

ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問合わせ先  
高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 042-663-6689

E-mail:ks\_takao\_postmaster@maff.go.jp

http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html

